

平成 26 年日本熱物性学会第 1 回 (2014-1) 役員会議事録
平成 25 年第 4 回(2013-4)役員会との合同会議

日時: 平成 26 年 1 月 25 日(土) 役員会 14:00~16:30

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 教室棟 3F 304 教室

出席者: (五十音順・敬称略)

上利泰幸(大阪市立工業研究所)	青木秀之(東北大学)
赤松正人(山形大学)	池内賢朗(アルバック理工)
遠藤理恵(東京工業大学)	大村高弘(ニチアス)
小澤俊平(千葉工業大学)	小原拓(東北大学)
片岡秀文(大阪府立大学)	河野正道(九州大学)
迫田直也(九州大学)	佐藤讓(東北大学)
芝原正彦(大阪大学)	竹田修(東北大学)
田口博幸(京都電子工業)	長坂雄次(慶應義塾大学)
西川和宏(パナソニック)	花村克悟(東京工業大学)
春木将司(広島大学)	平澤良男(富山大学)
福地賢治(宇部工業高専)	福山博之(東北大学)
堀部明彦(岡山大)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
水野章敏(学習院大学)	宮崎康次(九州工業大学)
宮本泰行(富山県立大学)	元祐昌廣(東京理科大学)
桃木悟(長崎大学)	森川淳子(東京工業大学)
山田修史(産業技術総合研究所)	山田純(芝浦工業大学)
山田盛二(敷島製パン)	山田雅彦(北海道大学)
吉田篤正(大阪府立大学)	

審議事項:

長坂前会長, 吉田会長より挨拶があり, 引き続き新旧役員の紹介と配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号: 14-1-1-役

元祐評議員より, 資料 14-1-1-役, に基づき, 前回議事録の確認があり, 出席者の修正がなされ, 了承された。

(2) 学生プレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号: 14-1-2

桃木理事より, 第 34 回シンポジウムにおける学生プレゼンテーション賞についての選考結果の報告があった。審査の結果, 34 名から 6 名が選ばれた旨が報告された。プレゼンテーション内容及び研究内容に対する評価のバランスに配慮した。また, 年々プレゼンテーションのレベルが向上しているとのこと。

(3)第 34 回シンポジウム決算報告……………資料番号: 14-1-3

平澤 34 回シンポジウム実行委員会委員長より, 34 回シンポジウムの収支決算が報告された。241 名の参加があった旨, 講演論文集の購入希望が多かったため増刷を行った旨が報告された。

(4)覚書の確認……………資料番号: 14-1-4

小原事務局担当副会長より, 学会運営に関する覚書の紹介があった。34 回シンポジウムの情報, および第 5 章の慶弔関連事項が追加された旨が報告された。シンポジウム講演論文集の残部表記について, 当該シンポジウム終了時の報告に基づいて作成されているため, 現状と必ずしも一致しない旨が説明された。今回提示分の改定案は役員会で承認された。

(5)第 34 期(平成 25 年)活動報告……………資料番号: 14-1-5

小原事務局担当副会長より, 資料 14-1-5 に基づき, 学会の第 34 期(平成 25 年)の活動報告に関する報告があり, 一部の修正の後に了承された。続いて, 収支決算の説明がなされた。長期会費未納者の退会処理を行った旨が報告された。一部項目の名称は今後検討して改める必要があるとの意見が出された。

(6)第 35 期(平成 26 年)事業計画……………資料番号: 14-1-6

小原事務局担当副会長より, 資料 14-1-6 に基づき, 学会の第 35 期(平成 26 年)の事業計画に関する報告があった。総会, 理事会・役員会, シンポジウムの開催, 各種委員会活動の計画について説明された。

(7)第 35 期(平成 26 年)収支予算……………資料番号: 14-1-7

小原事務局担当副会長と山田東京連絡事務担当より, 資料 14-1-7 に基づき, 学会の第 35 期(平成 26 年)の収支予算に関する報告があり, 事務人件費を増額するとのことで, 了承された。

(8)第 35 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号: 14-1-8

花村シンポジウム実行委員会委員長より, 第 35 回日本熱物性シンポジウムの準備状況についての報告があった。第 1 回会告が学会誌 2 月号に掲載予定。ワークショップを企画している旨, リーディング大学院の協賛になる旨が説明された。また, 講演申込開始を 5 月 12 日(月), 参加申込開始を 9 月 1 日(月)にする予定である旨。会場で講演論文集をネットで見られるようにする予定である旨が説明された。

(9)第 36 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号: 14-1-8(2)

福山監事(36 回シンポジウム実行委員会委員長)より, 資料 14-1-8(2)に基づき, 第 36 回日本熱物性シンポジウムについての報告があり, 2015 年 10 月 19 日(月)~21 日(水)に仙台国際センターにて開催予定とのこと。

(10)各種委員会報告……………資料番号: 14-1-9**編集委員会**

堀部編集委員会委員長より, 資料 14-1-9-1 に基づいて, 報告があった。熱物性誌 2 月号の目次案が出され, 小林清志先生の追悼記事, 学会賞, シンポジウム報告が掲載予定。「めるていんぐぼいんと」, 「さ

「一もふいじしすと」を、記名・匿名の両方を受け付けるような形で復活することを検討中であるとのこと。論文の投稿頻度は年間 12~13 件で、是非積極的な投稿を頂きたい。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料 14-1-9-2 に基づいて報告があった。2013 年度の活動報告として、月平均 4500 件のアクセス。シンポジウム講演論文集の一般公開を昨年 11 月より公開したが、公開から 2 ヶ月で 160 編ダウンロードされたとのこと。2014 年の活動計画についても説明があった。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 14-1-9-3 に基づいて活動報告があった。ベストプレゼンテーション賞の関連業務の報告がなされた。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 14-1-9-4 に基づいて、広報活動について、会計報告と H26 年の活動報告があった。フロントページコラムの積極的な更新を継続する。

表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、資料 14-1-9-5 に基づいて、表彰委員会の活動について報告があった。続いて、2014 年学会賞候補の募集について説明された。

(11)研究分科会について……………資料番号:14-1-10

水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田東京連絡事務担当より、資料 14-1-10-1 に基づいて、活動報告がなされた。

高温融体物性と材料プロセス

福山主査より、資料 14-1-10-2 に基づいて、活動報告がなされた。

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

吉田会長より、資料 14-1-10-3 に基づいて、活動報告がなされた。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

花村主査より、資料 14-1-10-4 に基づいて、活動報告がなされた。

(12)事務局報告……………資料番号:14-1-11

山田東京連絡事務担当より、資料 14-1-11-1 に基づいて共催について報告があった。続いて、資料 14-1-11-2 に基づいて会員異動の報告があった。積極的な入会勧誘をお願いしたいとのこと。

(13)その他

特になし

以上